

2022 春季生活闘争・妥結情報

2022. 4. 14 — 第 12 号 — 連合北海道 春季生活闘争本部

2022 年春季生活闘争 第 4 回回答集計結果について

連合本部は、2022 年春季生活闘争につき、4 月 12 日（火）午前 10 時時点で取りまとめた回答集計について、次のとおり発表した。

- 月例賃金改善（定昇維持含む）を要求した 4,310 組合中 2,650 組合が妥結済み。うち賃金改善分を獲得した組合は 1,311 組合・49.5%で、依然高い水準を維持している。
- 平均賃金方式で回答を引き出した 2,737 組合の「定昇相当込み賃上げ計」は加重平均で 6,257 円・2.11%（昨年同時期比 812 円増・0.28 ポイント増）、うち 300 人未満の中小組合 1,790 組合は 5,094 円・2.06%（同 547 円増・0.25 ポイント増）となった。前回集計（4 月 5 日公表）以降 548 組合（うち中小組合 424 組合）が新たに回答を引き出したが、率は水準を保っている。
賃上げ分が明確に分かる 1,562 組合の「賃上げ分」は 1,857 円・0.62%で、すべての規模区分で昨年同時期を上回った。うち中小組合 879 組合は 1,836 円・0.74%となったが、額・率とも第 4 回回答集計時点では賃上げ分の集計を開始した 2015 闘争以降で最も高い。
新たに回答を引き出した組合の 8 割近くを中小組合が占めるが、依然「賃上げの流れ」はしっかりと引き継がれている。「人への投資」と月例賃金にこだわり、「働きの価値に見合った賃金水準」を意識して粘り強い交渉を行った成果と受け止める。
- 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で、時給 24.72 円（同 2.81 円増）・月給 5,050 円（同 605 円増）である。引上げ率は概算でそれぞれ 2.41%・2.34%となり、依然一般組合員（平均賃金方式）を上回っている。

連合北海道が 4 月 13 日（水）午後 5 時時点で取りまとめた回答集計は、以下の通り。

- エントリー-203 組合の約半数となる 104 組合（昨年同時期比 37 組合増）が妥結した。
- 集計が可能な 93 組合 34,319 人における回答妥結額（加重平均）は、5,471 円（定昇・ベア込み）、妥結率は 2.05%となった。
- 前回集計（4 月 5 日公表）以降 20 組合が妥結した 300 人未満では、昨年同時期比で 7 円増・0.07%増となった。
- 時間給労働者の妥結組合数は 15 組合で引き上げ額は加重平均で 24.46 円、引上げ率は 2.50%、平均時給（加重平均）は 1,000.61 円となった。

連合北海道は、未解決組合の賃金交渉を促進し早期の決着に向け情報を発信するとともに、支援体制を続けていく。

【組合規模別賃上げ状況 2022年4月13日 連合北海道集計】

組合規模	集計組合数	対象組合人数	加重平均 妥結額 (定昇・ベア込み)	*昨年実績額 (定昇・ベア込み)	*昨年比
～99 人	34	1,415 人	3,931 円(1.73%)	3,940 円(1.77%)	-9 円(-0.04%)
100～299 人	34	5,589 人	4,461 円(1.99%)	4,499 円(1.91%)	-38 円(0.08%)
300 人未満計	68	7,004 人	4,340 円(1.94%)	4,333 円(1.87%)	7 円(0.07%)
300～999 人	19	8,956 人	4,556 円(1.84%)	4,724 円(1.87%)	-168 円(-0.03%)
1,000 人～	6	18,359 人	6,261 円(2.15%)	6,997 円(2.42%)	-736 円(-0.27%)
300 人以上計	25	27,315 人	5,736 円(2.07%)	6,304 円(2.27%)	-568 円(-0.20%)
計	93	34,319 人	5,471 円(2.05%)	6,022 円(2.21%)	-551 円(-0.16%)